

令和8年度 埼玉県学力・学習状況調査 数学 中学校 第3学年

大問	小問	問題の概要	教科の領域等			
			数と式	図形	関数	データの活用
1	(1)	文字式の計算をする	○			
	(2)	文字式の計算をして、適切なものを選ぶ	○			
	(3)	単項式（数や文字の乗法だけでつくられた式）の乗除の計算をする	○			
	(4)	ある事柄の逆として、適切なものを選ぶ		○		
	(5)	連立方程式を解く	○			
	(6)	二元一次方程式の解となる値の組み合わせとして適切なものを選ぶ	○			
	(7)	方程式の計算で等式の性質として適切なものを選ぶ	○			
	(8)	一次関数のグラフを見て、一次関数の式を求める			○	
	(9)	さいころを2つ投げたときの場合の数を求める				○
	(10)	確率において「同様に確からしい」の意味として適切なものを選ぶ				○
2	(1)	文章を読み、正しい連立方程式を選ぶ	○			
	(2)	立体の表面積を文字式で表したものを選ぶ	○			
	(3)	三角形を利用した内角の和の説明として正しいものを選ぶ		○		
	(4)	平行線の性質を利用して、角の大きさを求める		○		
	(5)	文章を読み、方程式を用いて未知数を求める	○			
	(6)	二元一次方程式から切片を求める			○	
	(7)	反比例する事象について、比例定数が表しているものとして適切なものを選ぶ			○	
	(8)	カードをひくとき、和が偶数になる確率として正しいものを選ぶ				○
3	(1)	直角三角形が回転してできる図形の体積を選ぶ		○		
	(2)	回転移動した図形を選ぶ		○		
	(3)	一次関数において、 $x$ の変域が与えられたときの $y$ の変域を選ぶ			○	
	(4)	反比例のグラフを見て、 $y$ を $x$ の式で表したものを選ぶ			○	
	(5)	連続する3つの偶数の和にイえる性質について、文字を用いた式に表し、説明することができる	○			
	(6)	8.5秒以上9.5秒未満の階級の相対度数を選ぶ				○
4	(1)	三角形の性質を利用して、5つの角の和の大きさについての説明にあてはまる式や数を選ぶ		○		
	(2)	箱ひげ図から四分位範囲を求め、適切なものを選ぶ				○
	(3)	日常生活において、反比例の関係を見だし、問題解決の説明について、適切なものを選ぶ			○	
5	(1)	三角形の等積の性質をもとに、2つの三角形の関係について説明しているものを選ぶ		○		
	(2)	確率をもとに投げた硬貨の枚数を求める				○
	(3)	一次関数として捉えられる二つの数量の変化を表したグラフを選ぶ			○	
	(4)	ヒストグラムをもとに、主張の根拠を選ぶ				○
	(5)	赤玉2個、青玉1個が入っている2つの袋から、それぞれ玉を1個取り出したときに起きることを確率を用いて、適切なものを選ぶことができる				○
6		三角形の合同を証明する		○		